

## 魅力と期待の集まる新本部整備

— 新本部における基盤技術支援のLED照明評価機器の充実についてご紹介 —

4月号から全12回のシリーズで始まった、「魅力と期待の集まる新本部整備」として、平成23年度開設予定の新本部整備進捗状況や強化する基盤技術支援の中からLED照明評価機器の充実について紹介します。

### 新本部の工事進捗状況

平成23年度開設に向け、臨海副都心青海地区で着々と建設が進んでいます。柱、梁、床、壁の鉄筋及びコンクリート工事が3階までほぼ完了しています（図1）。今後、3階から屋上階までの柱、梁、壁及び床を施工していきます。なお、新本部の住所が、江東区青海二丁目4番10号に決定しました。



図1 新本部現場建築工事状況  
(全景H22.3.16撮影)



図2 エントランス  
から2階



図3 5階講堂廻り

(H22.3.17撮影)

図2はエントランス廻りから中2階にある東京イノベーションハブ（図2上部）が出来る空間です。また、図3は5階西側に位置している講堂が出来る場所です。

### 新本部における基盤技術支援

新本部では、照明機器の新需要や新規格に対応した試験を実施いたします。特にLED照明の性能評価機器の充実を行ないます。

既に平成21年度に先行導入したLED球形光束計（図4）は、従来の球形光束計では測定が困難であったLEDモジュールの測定が可能となり、LED照明機器を開発している多くの企業の要望に応えることができます。



図4 LED用球形光束計（平成21年度導入）

新しく設置予定の配光装置では、配光角が狭いダウンライトやLEDスポットライトなどの器具に対応でき、新たに配光測定データから水平面照度分布の算出を行えるようにします。

また新しい光学台では、照度計と標準電球の校正に加え、これまで対応が困難であった小型LED照明の色彩関連（色温度、演色性）の角度特性測定への対応ができるようになります。

さらに分光応答度測定システムでは、従来とは異なる分光分布のLEDなどの新光源に対応した照度・光度・輝度測定用の受光器の特性評価が可能となり、改正JIS C 8105（照明器具）の新規格に適合した測定を行えるようにします。

新拠点新本部に関してご質問のある方は、下記にご連絡下さい。

経営企画部 新拠点準備室 <西が丘本部>  
山本克美 TEL 03-3909-2176  
E-mail : yamamoto.katsumi@iri-tokyo.jp

## 平成23年度 臨海副都心青海に新本部開設